

株主の皆様へ

**SAKATA INX**

Visual Communication Technology

証券コード：4633

# 第145期 報告書

2022年1月1日～2022年12月31日

## C O N T E N T S

株主の皆様へ	P. 1	連結財務諸表	P. 4	株主様向け情報	P. 8
トピックス	P. 2	セグメント別概況	P. 5	株式情報	P. 9
連結業績・財務ハイライト	P. 3	ESG・サステナビリティへの取り組み/ グローバルネットワーク	P. 7	会社情報	P. 10
				株主メモ	P. 11

## 株主の皆様へ

To Our Shareholders

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社の第145期(2022年1月1日から12月31日)の業績概況につきまして、ご報告申し上げます。

当連結会計年度の世界経済は、新型コロナウイルス感染症による経済活動の落ち込みから持ち直しの動きが続いたものの、ウクライナ問題や中国におけるゼロコロナ政策の影響による資源価格の高騰やサプライチェーンの混乱による影響が長期化したことに加え、下半期においては世界的にインフレの加速及び金融引き締めによる景気の減速感が顕著となり先行きが懸念される状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループはコア事業である印刷インキ事業において、各拠点での拡販に注力するとともに、環境配慮型・サステナブル製品の開発と積極展開、TPM活動の継続と深化による生産性向上などに取り組みました。また、印刷インキの主要原材料につきましては、原油価格の上昇や中国における環境規制の強化に加え、感染症などの影響に伴うサプライチェーンの混乱及び需給バランスの悪化により、供給不足が生じたこともあり、価格が高騰しその後も高止まりが続きました。このため、製品の安定供給を最優先として、グループ会社間の連携強化やグローバル調達などによるサプライチェーンの安定化に取り組むとともに販売価格の改定に取り組みました。機能性材料事業では、インクジェットインキをはじめとして、トナー、カラーフィルター用顔料分散液などの従来製品の拡販に加え、社会トレンドを捉えた高付加価値製品の開発に取り組みました。

売上高は、印刷インキや機能性材料の拡販が進んだことや、販売価格の改定が進んだことに加え、急激な円安により為替換算の影響を大きく受けたことなどから、2,155億3千1百万円(前期比18.8%増加)となりました。

利益面では、販売数量の増加が寄与したものの、原油価格の高騰などによる印刷インキの原材料高が長期化していることや、米州では物流コストや人件費、欧州ではそれらに加え、電気・ガスといったユーティリティコストが著しく増加するなど、販売価格の改定が原材料価格及び諸費用の上昇に追い付かない状況が続いております。以上のことから、営業利益は41億2千5百万円(前期比44.4%減少)、経常利益は49億6千1百万円(前期比41.7%減少)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券売却益を計上したことなどから、45億5千5百万円(前期比7.7%減少)となりました。

なお、当期の期末配当金は1株あたり15円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役  
社長執行役員

上野 吉昭

2023年3月

## トピックス

### Topics

#### 2022東京国際包装展(TOKYO PACK 2022)に出展

昨年10月に東京ビックサイトにて「東京国際包装展(TOKYO PACK 2022)」が開催されました。

今回の展示会は、感染症対策の行動制限が緩和されたことで国内外から多数の来場者が訪れ、当社ブースにも多くの方にご来場いただき、活気あふれる展示会となりました。今回の出展に関しては長期ビジョン『SAKATA INX VISION 2030』の趣旨に合わせて、当社が取り組むべき重要課題(マテリアリティ)と事業部の枠を超えた既存・新規製商品を紐づけて、ステークホルダーとの共感を訴求しました。ブースはパッケージ事業と関連の深い、『持続可能な地球環境を維持するための活動』『安心・安全な製品の供給』『研究開発・技術力の強化』の3つのマテリアリティをテーマとし、大型ディスプレイも複数配置しました。それぞれのマテリアリティに関連した製品として、カーボンオフセットの観点からCO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献する「ボタニカルインキ」、脱プラスチックによる“紙化”や減プラスチックとしてリサイクルしやすい素材を使用する“モノマテリアル化”に貢献する「ヒートシール剤」などの製商品を紹介しました。今後も、総合インキメーカーとしての強みを生かし、当社の基盤技術や新規材料・素材を生かした製品を開発し、サステナブルな社会の構築に貢献してまいります。



当社出展ブース



ボタニカルインキ印刷物サンプル

#### ステークホルダーとの関係強化

2021年に長期ビジョン『SAKATA INX VISION 2030』を発表し、当社グループの2030年に向けた挑戦をステークホルダーの皆さまに分かりやすくお伝えするためにコーポレートサイトをリニューアルしました。当社の事業内容などのほか、新たにブランディングページやサステナビリティページを設けました。当社の歴史や事業活動などを深掘する「CLOSE-UP」というコンテンツも展開しており、今後、記事を増やしてコーポレートサイトをさらに充実してまいります。またコーポレート・ビジョン・ムービーも新たに制作し、長期ビジョンを軸とした当社の2030年に向けたチャレンジをアピールしています。この動画をご覧いただき、多くの方に当社へ関心を持っていただきたいと思っております。今後も、コーポレートサイト、動画、統合報告書、SNS等さまざまな媒体の内容充実を図り、ステークホルダーの皆さまにタイムリーな情報を発信してまいります。



コーポレートサイト

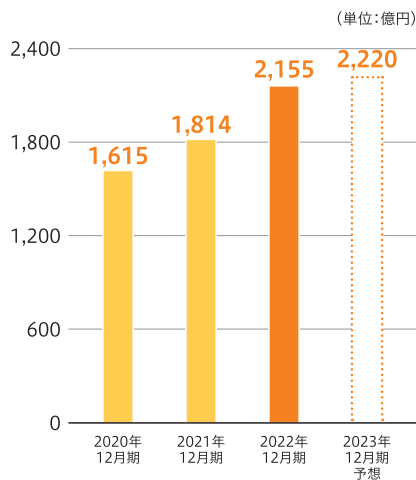


コーポレート・ビジョン・ムービー

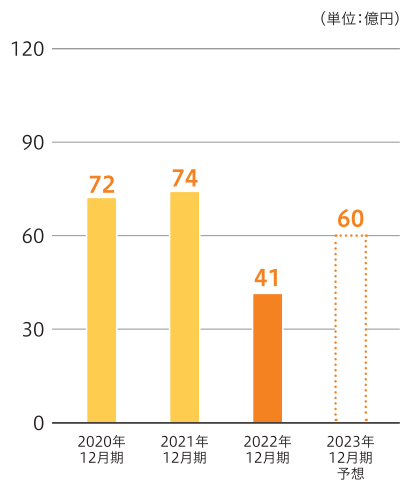
# 連結業績・財務ハイライト

## Consolidated Financial Highlights

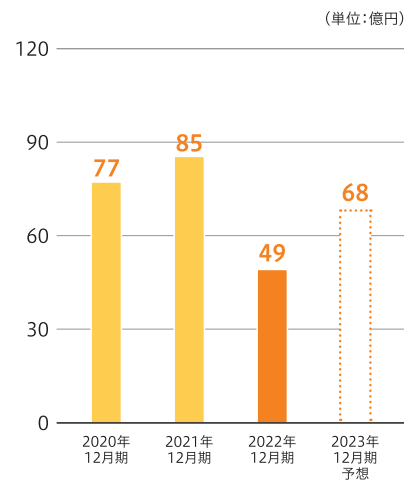
### 売上高



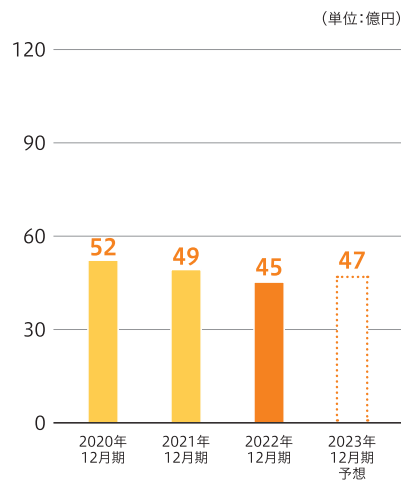
### 営業利益



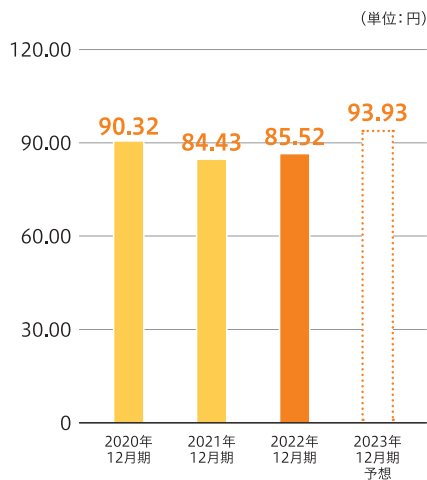
### 経常利益



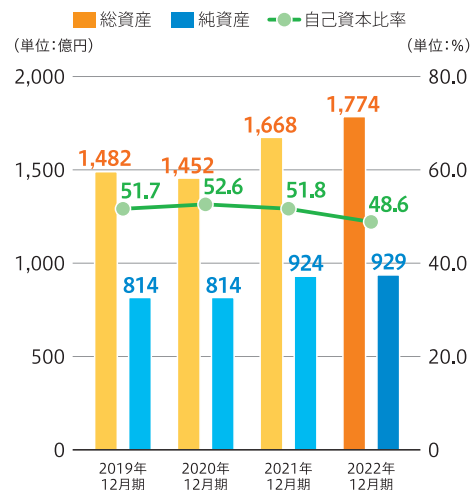
### 親会社株主に帰属する当期純利益



### 1株当たり当期純利益



### 総資産／純資産／自己資本比率



# 連結財務諸表

## Consolidated Financial Statements

### ■ 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	期別	前期末	当期末
		2021年12月31日	2022年12月31日
<b>資産の部</b>			
流動資産		92,860	101,150
固定資産		74,039	76,252
有形固定資産		45,320	48,385
無形固定資産		827	2,342
投資その他の資産		27,890	25,524
資産合計		166,899	177,403
<b>負債の部</b>			
流動負債		55,258	59,143
固定負債		19,176	25,307
負債合計		74,434	84,450
<b>純資産の部</b>			
株主資本		86,104	80,859
資本金		7,472	7,472
資本剰余金		5,675	5,672
利益剰余金		76,967	71,729
自己株式		△ 4,010	△ 4,015
その他の包括利益累計額		275	5,412
その他有価証券評価差額金		2,106	1,111
繰延ヘッジ損益		△ 2	△ 0
為替換算調整勘定		△ 1,606	5,010
退職給付に係る調整累計額		△ 222	△ 709
非支配株主持分		6,085	6,680
純資産合計		92,465	92,952
負債純資産合計		166,899	177,403

### ■ 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	期別	前期	当期
		2021年1月1日～ 2021年12月31日	2022年1月1日～ 2022年12月31日
売上高		181,487	215,531
売上原価		143,803	176,312
売上総利益		37,684	39,218
販売費及び一般管理費		30,269	35,093
営業利益		7,414	4,125
営業外収益		1,835	1,825
営業外費用		743	990
経常利益		8,506	4,961
特別利益		290	1,542
特別損失		1,013	218
税金等調整前当期純利益		7,784	6,284
法人税、住民税及び事業税		1,796	1,856
法人税等調整額		357	△ 508
法人税等合計		2,153	1,348
当期純利益		5,630	4,935
非支配株主に帰属する当期純利益		697	380
親会社株主に帰属する当期純利益		4,933	4,555

### ■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	期別	前期	当期
		2021年1月1日～ 2021年12月31日	2022年1月1日～ 2022年12月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー		7,556	4,945
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 5,352	△ 1,666
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 2,875	△ 3,897
現金及び現金同等物に係る換算差額		679	225
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		7	△ 393
現金及び現金同等物の期首残高		11,678	12,115
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		429	—
現金及び現金同等物の期末残高		12,115	11,721



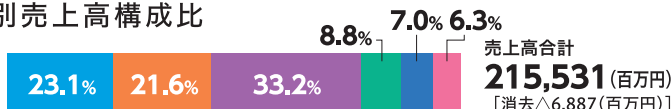
# セグメント別概況

## Segment Information

### セグメント別売上高構成比

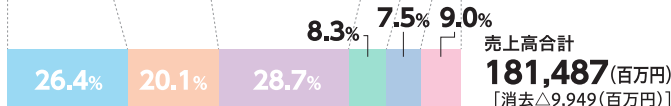
#### 第145期

自 2022年 1月 1日  
至 2022年12月31日



#### 第144期

自 2021年 1月 1日  
至 2021年12月31日



- 印刷インキ・機材(日本)
- 印刷インキ(アジア)
- 印刷インキ(米州)
- 印刷インキ(欧州)
- 機能性材料
- その他\*

\*「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成成品事業、ディスプレイサービス事業等を含んでおります。

### 印刷インキ・機材(日本)

#### 売上高

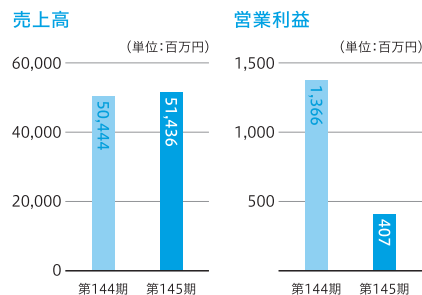
**514億3千6百万円**  
前期比 **2.0%**増

#### 主要製商品

フレキシインキ、グラビアインキ、新聞インキ、オフセットインキ、印刷製版用材料、印刷製版関連機器

感染症による社会経済活動の制限緩和が続き、各地で人出の増加や大型イベントの開催などにより経済活動が活発化したこともあり、全般としてパッケージ関連の需要が高まりました。グラビアインキは内食関連の需要が堅調に推移したことに加え、レジャー消費やコンビニエンスストアの需要の高まりなどもあり好調に推移いたしました。フレキシインキは産業資材関係が低迷したものの日用品や加工食品、青果物関係が堅調だったことに加え、紙袋関係の需要も回復が続くなど全体として堅調に推移いたしました。印刷情報関連では、デジタル化の影響に加え、感染症の影響による広告需要の低迷が長引いていることなどから、新聞インキ、オフセットインキともに低調に推移いたしました。以上のことから、印刷インキ全体では前期を上回りました。機材につきましては、印刷製版用材料、機械販売ともに前期を下回りました。これらの結果、売上高は増収となりました。

利益面では、原材料高の影響に対する販売価格の改定効果が遅れていることに加え、印刷情報関連の印刷インキの販売が低調に推移したことなどから、営業利益は減益となりました。



### 印刷インキ(アジア)

#### 売上高

**480億5千万円**  
前期比 **24.6%**増

#### (参考)

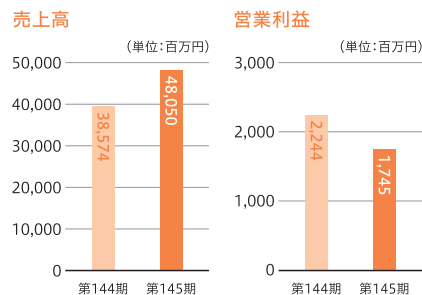
為替影響排除後 **7.8%**増

#### 主要製商品

フレキシインキ、グラビアインキ、メタルインキ、新聞インキ、オフセットインキ

主力であるパッケージ関連のグラビアインキは、インドネシア、ベトナムなどを中心に全般的に堅調に推移いたしました。印刷情報関連では、インドでは感染症の影響による需要減からの回復が続きました。一方、ロックダウンの影響を受けた中国では、政府のコロナ政策の影響もあり景気が低迷したことにより、全般的に販売は低調に推移いたしました。売上高は、販売数量が増加したことや販売価格の改定が進んだことに加え、円安による為替換算の影響を大きく受けたことなどから増収となりました。

利益面では、販売数量の増加に加え、販売価格の改定効果が寄与したものの、原材料高の影響を受けたことなどから、営業利益は減益となりました。



## 印刷インキ(米州)

売上高

**738億8千9百万円**

前期比**34.5%**増

(参考)

為替影響排除後 **12.0%**増

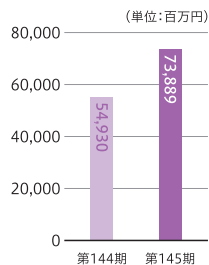
主要製商品

フレキシインキ、グラビアインキ、  
メタルインキ、オフセットインキ

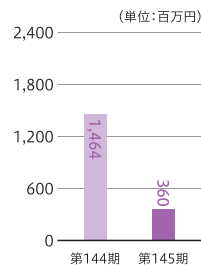
主力のパッケージ関連では、上半期までは旺盛な需要を背景として、フレキシインキ及びグラビアインキが好調に推移したものの、第4四半期には、金融引き締めによる市況の悪化から在庫調整の動きなどもあり販売は落ち込みました。メタルインキは環境負荷の観点からアルミ缶に対する需要が高まっていることもあり、好調に推移いたしましたが、第4四半期ではやや伸び悩みました。印刷情報関連であるオフセットインキは、全体としては伸び悩みました。売上高は、販売価格の改定が進んだことに加え、円安による為替換算の影響を大きく受けたことなどから、増収となりました。

利益面では、販売価格の改定効果が寄与したものの、原材料高の影響や、物流コスト及び人件費などを中心に経費が大きく増加したことに加え、第4四半期において販売が落ち込んだことにより、営業利益は減益となりました。

売上高



営業利益



## 印刷インキ(欧州)

売上高

**194億8千6百万円**

前期比**22.3%**増

(参考)

為替影響排除後 **15.1%**増

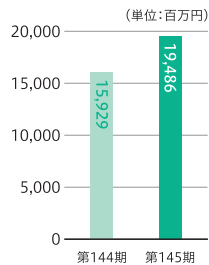
主要製商品

フレキシインキ、グラビアインキ、  
メタルインキ、オフセットインキ

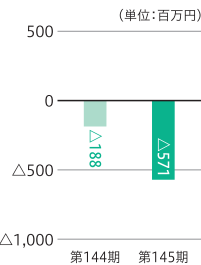
パッケージ関連を中心として拡販に取り組んだ結果、販売は堅調に推移いたしました。売上高は、販売数量が増加したことや販売価格の改定が進んだことに加え、円安による為替換算の影響を受けたことなどから、増収となりました。

利益面では、販売数量の増加や販売価格の改定効果が寄与したものの、原材料高の影響に加え、ユーティリティコストや物流コスト・人件費など経費が大きく増加したことなどから、営業損失が増加しました。

売上高



営業利益



## 機能性材料

売上高

**155億8百万円**

前期比**8.2%**増

(参考)

為替影響排除後 **1.1%**増

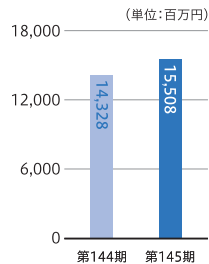
主要製商品

インクジェットインキ、トナー、  
カラーフィルター用顔料分散液、  
機能性コーティング剤

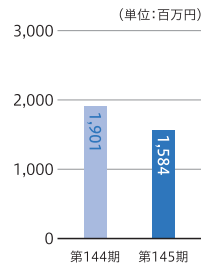
インクジェットインキは中国におけるコロナ政策の影響はあるものの、販売が堅調に推移し前期を上回りました。一方、カラーフィルター用顔料分散液はパネルディスプレイの需要減の影響もあり、販売が伸び悩み前期を下回りました。トナーは、海外向けの販売が好調に推移したことなどから前期を上回りました。これらの結果に加え、円安による為替換算の影響を大きく受けたことなどから、増収となりました。

利益面では、デジタル印刷材料の販売が増加したものの、原材料高の影響を受けたことに加え諸経費が増加したことから、営業利益は減益となりました。

売上高



営業利益



# ESG・サステナビリティへの取り組み

## Approaches on ESG・Sustainability Activities

### ■ 外部イニシアティブへの参加と各種方針の制定・改定

長期ビジョンにおいて、「地球環境と地域社会を重視した ESG・サステナビリティの取り組み強化」を掲げており、昨年はその目標に向け、TCFD賛同表明、国連グローバル・コンパクト署名などさまざまな団体や外部イニシアティブへの参加を進めました。また、サカタインクスグループとして、ESG経営を実践していくにあたり、事業活動を通じて社会課題を解決することが重要と考えており、まずは各取り組みに関する各種方針の制定・改定を進めました。当社はこれらの活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献し、ステークホルダーの皆さまからより一層の信頼を得られるよう努めてまいります。

イクボス企業同盟調印式  
 (左)当社社長  
 (右)ファザリング・ジャパン代表理事  
 安藤哲也氏



#### 団体・外部イニシアティブへの参加

##### 【加盟団体】

- Sedexへの入会
- 人的資本経営コンソーシアムへの入会
- イクボス企業同盟に加盟 など

##### 【外部イニシアティブ】

- TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言への賛同
- 国連グローバル・コンパクト署名
- WEPs(女性エンパワーメント原則)署名 など

#### 各種方針の制定・改定

- サカタインクスグループ 人権方針
- サカタインクスグループ 調達基本方針
- サカタインクスグループ ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン(DE&I)基本方針
- 環境基本理念・方針(改定) • 品質基本理念・方針(改定) など

## グローバルネットワーク

### Global Network





## 株主様向け情報

Information for Shareholders

### IR活動の取り組み

2022年8月および2023年3月に新聞記者やアナリスト、機関投資家などを対象とした決算説明会をWEBにて開催しました。セグメント別の売上高と営業利益の状況や「持続的成長に向けた取り組み」として新規事業の具体的な取り組みやサステナビリティ活動について説明しました。また当社として初めてとなる統合報告書を昨年8月末に発行しました。「Create and Innovate, Care for the Earth, Color for Life～あなたと、つくる、価値ある、あした～」をテーマに、事業の更なる発展と事業活動を通じたさまざまな社会課題の解決への取り組みを記載しています。当社ウェブサイトに掲載していますので、ぜひご一読ください。今後も当社の知名度向上と事業内容をご理解いただき、また話題性溢れ、成長していく企業として認知していただくべく、IR活動に取り組んでまいります。



### 「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄への選定

当社は、「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定されました。当Indexは低炭素経済への移行を促進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、TPI(Transition Pathway Initiative)経営品質スコアにより、改善の取り組みが評価される企業のみが組み入れられています。また公的年金運用機関である年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)のESG投資指数の一つとして採用されています。当社は、GPIFが採用する国内株式を対象としたESG指数のうち、「S&P」/「PXカーボン・エフィシエント指数」につづいての採用となりました。今後も企業価値の向上に努めるとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



**FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index**

### 株主還元について

#### 配 当 金

2022年12月期の期末配当金は、1株当たり15円の普通配当を実施させていただくことになりました。

#### 株 主 優 待 制 度

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、より多くの方々に中長期的に当社株式を保有していただくことを目的に株主優待を実施しています。

#### 対象となる株主様

毎年12月31日現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式1単元(100株)以上を保有する株主様を対象といたします。

#### 株 主 優 待 の 内 容

保有株式数	継続保有期間	優待内容
1単元(100株)以上	1年未満	QUOカード 500円
	1年以上3年未満	QUOカード 1,000円
	3年以上	QUOカード 2,000円

継続保有期間とは、それぞれ、同じ株主番号で毎年6月30日および12月31日現在の株主名簿に、1単元(100株)以上の保有を下記のとおり、連続で記載または記録されていることとします。

1 年 未 満：直近株主名簿に記載が2回以下

1年以上3年未満：直近株主名簿に連続3回以上6回記載

3 年 以 上：直近株主名簿に連続7回以上記載

#### 贈 呈 時 期

毎年、定時株主総会終了後の3月下旬にお送りする「定時株主総会決議ご通知」とともに発送を予定しています。

# 株式情報

## Stock Information

### 株式数および株主数

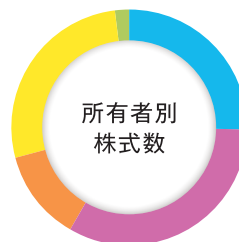
(2022年12月31日現在)

① 会社が発行する株式の総数	144,000千株
② 発行済株式の総数	54,172千株
③ 株主数	26,899名
④ 1人あたり平均持株数	2,013株
⑤ 大株主の状況	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,489	11.98
サカティンクス株式会社	4,143	7.65
JP MORGAN CHASE BANK 385632	4,092	7.56
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,588	6.62
住友生命保険相互会社	3,510	6.48
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE THE HIGHCLERE INTERNATIONAL INVESTORS SMALLER COMPANIES FUND	2,071	3.82
サカティンクス社員持株会	1,615	2.98
株式会社りそな銀行	1,563	2.89
有限会社神戸物産	1,416	2.61
株式会社朝日新聞社	1,181	2.18

### 株式の分布状況

(2022年12月31日現在)



(千株) (株数百分率)

個人・その他	13,721	25.34%
金融機関	17,937	33.11%
その他国内法人	6,723	12.41%
外国人	14,774	27.27%
証券会社	1,015	1.87%

(「個人・その他」に自己名義株式を含みます)

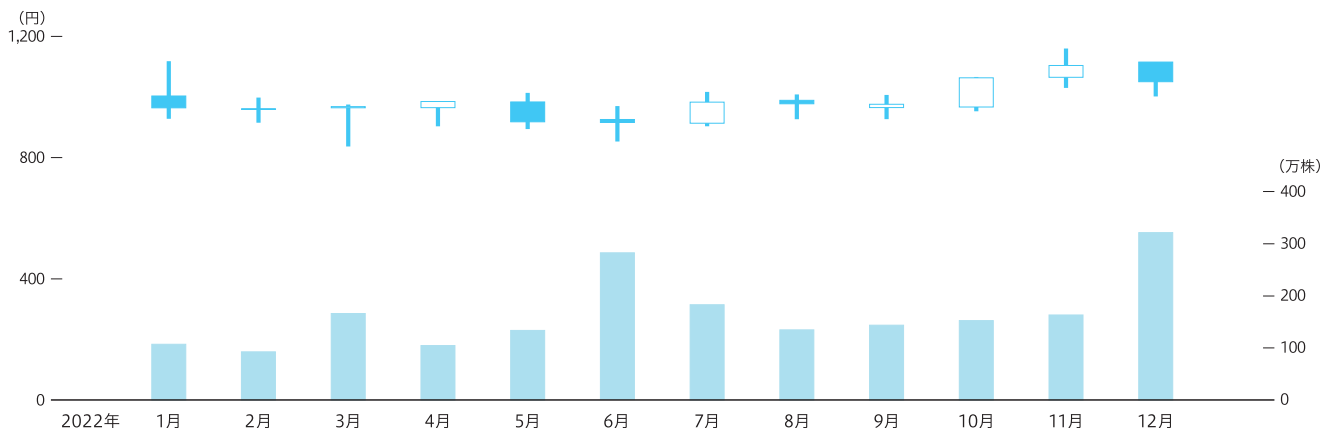


(千株) (株数百分率)

百株未満	15	0.03%
百株以上	2,751	5.08%
千株以上	2,798	5.17%
一万株以上	4,673	8.63%
十万株以上	43,932	81.10%

(「十万株以上」に自己名義株式を含みます)

### 株価および出来高の推移



# 会社情報

## Corporate Information

### 会社概要

(2022年12月31日現在)

創業	1896年(明治29年)11月1日
設立	1920年(大正9年)9月5日
資本金	7,472百万円 (百万円未満切捨て)
本社	(大 阪)大阪市西区江戸堀一丁目23番37号 (東 京)東京都文京区後楽一丁目4番25号(日教販ビル)
事業内容	各種印刷インキ・補助剤の製造・販売 印刷用・製版用機材の販売 電子機器・情報関連機材の販売 機能性材料関連品の製造・販売 輸出入
国内営業拠点	支社(愛知・岡山・福岡) 支店(北海道・宮城・静岡・石川) 営業所等(青森・新潟・神奈川・広島・香川・熊本)
国内生産拠点	東京工場 (千葉県野田市) 大阪工場 (兵庫県伊丹市) 滋賀工場 (滋賀県米原市) 羽生工場 (埼玉県羽生市)
海外拠点	アメリカ・カナダ・ブラジル・イギリス・スペイン・ ドイツ・チェコ・イタリア・フランス・インドネシア・ マレーシア・ベトナム・カンボジア・フィリピン・タイ・ インド・バングラデシュ・中国・台湾
従業員数	連結 4,862名(単体 893名)

### ウェブサイトのご案内

ニュースリリースやIRトピックスなどの最新情報を掲載しています。(https://www.inx.co.jp)



サカタインクス

検索



### 役員

(2023年3月29日現在)

#### 取締役

代表	取締役
取	締 役
取	締 役
取	締 役
取	締 役
社外	取締役
社外	取締役
社外	取締役

上野	吉昭
中村	均
福永	俊彦
森田	博
建入	実
佐藤	義雄
辻本	由起子
大槻	和子

#### 監査役

常勤	監査役
常勤	監査役
社外	監査役
社外	監査役

淵野	昌弘
松尾	晴彦
杉本	宏之
岩崎	雅己

#### 執行役員

社長	執行役員
専務	執行役員
専務	執行役員
常務	執行役員
常務	執行役員
上席	執行役員
上席	執行役員
上席	執行役員
上席	執行役員
上席	執行役員
執行	役員
執行	役員
執行	役員

上野	吉昭
中村	均
福永	俊彦
森田	博
西田	利行
芳村	嘉也
潟浦	雄一
濱田	洋一
建入	実
木村	隆司
芳澤	廣之
高坂	勝巳
安達	靖幸

# 株主メモ

## Shareholder Memo

事業年度 1月1日から12月31日まで  
定時株主総会 3月開催  
基準日 定時株主総会 12月31日  
期末配当金 12月31日  
中間配当金 6月30日  
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) ☎0120-782-031  
受付時間 9:00~17:00(土日休を除く)

(URL) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

公告の方法 電子公告とし、当社ウェブサイトに掲載いたします。  
(公告掲載URL <https://www.inx.co.jp/>)  
ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告  
ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 東京証券取引所  
会計監査人 有限責任 あずさ監査法人  
お問い合わせ先 住所変更、単元未満株式の買取・買増等について  
株主様の口座のある証券会社にお問い合わせください。  
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設され  
ました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井  
住友信託銀行株式会社にお問い合わせください。

未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社まで  
お問い合わせください。

## サカタインクス株式会社

■大阪本社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-23-37  
TEL 06-6447-5811  
■東京本社 〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-25(日教販ビル)  
TEL 03-5689-6601

●ウェブサイト  
<https://www.inx.co.jp/>

## 株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続き  
が必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社など  
へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

### 株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載  
し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書 ○配当金に関する支払調書  
○単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引  
に関する支払調書

### マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主様  
お取引の証券会社までお問い合わせください。
- 証券会社とのお取引がない株主様  
下記のフリーダイヤルまでお問い合わせください。  
三井住友信託銀行 証券代行部  
☎0120-782-031  
受付時間 9:00~17:00(土日休を除く)



サカタインクス 公式  
Facebook®



この報告書は、FSC®認証紙/木材を使用し、インキ中のVOC(揮発性有機化合物)成分を取り除き、植物油成分に置き換えて開発した当社製のDiatoneエコピュアSOY CL-100Xにて印刷しております。